





將此偶并文前三門ヲ以テ分別ス 初未意二大意三題目

今ハ初ナ 抑此平儀偶ニ何ノ為ナニ作リテヤト云ニ 就キ五葉院

ニ香月院ノ義ヲ潤色シテ之ヲ惣別ノ二ツニ分ケテ并ヤシヨリ今其

義ヲ申ワシ先ツ初ニ物々ニテ云并ニ自修及人信報佛恩ノ為メテ制

作シテ即チ力巻惣序ニ受恩禿叙奪親慶哉止ト至テ

此慶哉ト云フ先ト云フソト云ニ 噫弘誓強縁者多生巨値止ト云

諸教ノ信ヲモシ弘取ノ信果高難キ難値難聞ノ法ヲ今ヲ末代

ニ生シテラ直當ノ重命歎ニ値ヒ奉リルニ見法ヲ聞知ス又

夫トノ中ノ夫ト之今ノ自身ノ力ヲ云ハス佛祖ノ呂巧方便ニ依テ聞

信スルヲ得タリト云フ今自修ノ信ハラ得テ又ハ佛恩ヲ報

ス恩ヒヨリ外ニ故ニ其佛恩厚ノ為メニ此本書ハ制作シテ

ト云カ末意ヨリ即其制作ナクハ必カ即チ及人信ヲ又佛德賞

嘆チ相テ此及人信ノ為メニ此制作ト云フニ代巻終ノ惣叙ノ文

度哉

止トノ玉テ 此又ノ意ニ自ラ 任ヌラ見ニ 帰リ伊恩

師恩ノ 廣大ニ 見るカ知コト見ニ 恩ヲ及セスニ 一カラス 依テ真宗

ノ 註ヲ 鈔シセノ 要ヲ 撰フトノ 事ヲ 自信 教人 報佛 恩ノ 爲メノ

即 制作ス 夏 知 恩 序ノ 又ト 惣 終ノ 序ト 照シテ 見ニ 脛

馬 子 向 曰 若シ 何ラ 廣 本ノ 造 意ト 此 偶ノ 造 意ト 別 々ト

一ツト云一カラス之何

第ニ會

三日晴大

答云否 何ラ 廣 本ノ 造 意 即テ 此 偶ノ 造 意 也 故ニ 何トモハ

今 此 偶ノ 廣 本ノ 軸ノ 惣 終ノ 偶ヲ 四 法ニ 之 法ニ 基キテ 括

リテ 示シテ 故ニ 廣 本ノ 造 意 即テ 此 偶ノ 造 意 也 此 偶ノ 依テ

偶 前ノ 文ニ 正テ 正 候 偶ノ 造 意 也 此 偶ノ 依テ 文 相ニ 少シ 異ナ

レ 物 序ノ 文ノ 意 今 事 同 事 即 偶 前ノ 文ニ 凡 就 括 取

真 実 有 行 候 止トノ 玉テ 此 偶ノ 造 意 大 聖ノ 真 実 関ニ 大 祖 解 尺

候知佛恩甚思ス作レ正レ候レ今佛恩ヲトシテ今ノ教卷惣序  
ノ文ト同意ナリ昭シ合シテ見スレド五ノ廣本ノ未意而テ失  
偶ノ未意ニシテ一ニテシ少シ具異名アリ比意今ノ同リレラ概シ  
テ之ニ自候乃人候知恩報シレド乃レ作リ玉トシテ偶文之ノ惣  
ノ未意心ナリ次ニ別シテ并ス又ニ由義乃先才一義ノ自候ヲ述レド  
ニカレ乃レ制作シテ即チ惣序ノ文ニ受レ以レ慶レ所聞嘆所得ト  
ト吾祖自ノ聞具名号シ候心教先ト聞キ得玉レド事ヲ先ト玉レ  
テ全体ノ吾祖ノ曰ク曰ク小慈心心ニマキ成ニテ有情利益ノ恩ヲ  
下ス又是以知マシ邪正也今又止身ニテ手ト玉レテ有情利益ノ  
乃レニテ書ツ作人ナト思ヒモ依ラリ乃レ依ラリ只難レ道ニ值レ法ニ  
間キ難キ法ヲ聞テ帝首難候ノ他カ中取テ佛智惠ニ依テ  
慶候又ステ得報佛恩ヲ乃レニテ自以難有タカノ年リ自ラ  
同ラ候シタ候乃レ未ス斗リ乃レト玉レテ意ヲ是ニ自候乃レ義ニ

有り 柁ヲ弟ニ義ニ及人候ノ為ニ作リヨウ只自任ヲ述スルノ非  
ス下ナリ凡人ヲ勅シテ候ヲ得ヤシシニ為ル思召リ其証拠ニ卷  
終リノ惣紙ノ文ニ深知如未矜哀ナク初ニ自任ノ領解ヲ述ヘ  
次ニ其思心候ノ深重ニ感スル事アリ此書ヲ集メテ至テ次ニ  
候語共ニ因縁ノシテ其美意ノ物果ラ顯カシメ足ル人候  
ノ為ニ制スル云田々召リ而シテ次ニ其集ヲ列テ其法ハ後  
今者末代道俗抑信敬スキリト云テ其相傳人候通事  
其市ノ利也ナリ地キ只令法久住利果有情ノ為ナト云思  
召ニ執ス利果有情ナト云テ思ハ依ラテ事只佛思及テ為  
ニ此書ヲ採集スルニ知ニ自ラ人ノ為ニナシカシト見同人ニ若  
シ宿縁アリナト云同シハニテララント思召リテ是カ事候後  
候ニシテ此傷ノ休制作ニ此力ノ人候ノ為ナリ已傷之中ニ依  
ル分ニ應信如未如實言ト云テ依尺分ニ道俗時衆俱同

唯可信惟高僧說トハ人候ノ相ヲカ異テアリ又淨土和合ニモ佛

惠切從テテテテ十市ノ有縁ニキカシト太子登ニ他カ候テ工

人ニ乃至十市カニヒトシテ廣ク一トアリテ佛恩及リハ人候ニシテ佛

恩ノ難有キ莫ラ知シ人ニモ聞セ度ト云心一見ニキ差テ此カ常

行大凱ツ利益ニシテ他カ回向ノ度衆生心ノ念佛行者ニ自ラ教

人信ニ显ルテ加様ニ定規フ丹ニ百ニテ句ニ垂リ十カノ有縁ラシテ

妙賢ノ尺ノ取海ニ入マシメテ為シテ三ナハ人候ノ為ノ法選定

トスリ扱テ才ニ義佛從テ有嘆セシカメノ故ニ制作シテ

身改ニ只自信ハ人候ノ為ノミセニ偶文ニ亦スモ散説ニテモ成

キニ殊更ニ傳リ作リ玉フハ全体偶ニ有嘆ラ主トスモ故傳ヲ

作リ玉フ佛從者嘆ノ為ト云一義アリ扱テ才四義佛恩ヲ報

セカメリノ故ニ制作シテ己ニ物序ニ殊加未恩從ノ深キ下

ヲ知ト玉物候ノ文ニ只佛恩ノ深キヲ念及ト玉偶前ノ文ニ

ヲ知ト玉物候ノ文ニ只佛恩ノ深キヲ念及ト玉偶前ノ文ニ

信知佛恩深遠ト云リ又和負ニ佛恩仰造ヲホシテ乃至ツテ  
ニ佛恩ヲ報ス一也又他カノ信ツミ人ニ佛恩及セシメナシテ云  
五ノ物ニテ佛恩厚クメテ内制作ニテ自信教人候モ佛恩  
有嘆モツク人知ニテ及テノ為テト云カテ四義ヲ上未未意  
ニ科畧ニテ終ル

第三層

四日晴天

扱テ三門分別ノ中オニ大意大意ト摩訶止次一ノ二ノ初尺  
大意囊括始終冠載初後止トリ一部始終ヲ引キ括リテ前  
後ヲ母貝ヨキ一部ノ大剛要領ヲトクホシカ大意ヲ依ラテ  
得テ止正後得一部何テツクハ一部ハ所要程  
要ヲ明テテ大意ヲ向テ止得一部ノ大意ニ何答ニ古未止  
大意ニ執テ多後ヲテ或ハ懐心ツクハ一部ノ大意トス  
義是ニ正後得一部何カ明シテアリキモ畢竟又知信心ヲ本ト



頌ヲ口法物指ヲ以テ一部ノ大意ト致シ度キリ貝故得前ノ

一殊題一部ノ惣標トナリ信在ヲ大意トモト古今如クテ

レ此一部ノ如明ヲ命スル山堂只信乃ノミ限ラセテ試ニ一部ノ

如明ヲ見ヨ依在ノ中本取名号止ノ四句明カニ口法ヲ明ク依

款分ニアリテ徳合陀佛本取ナリ口内殊ニ明カニ是緯

折中口内ハ句ニ口法ヲ並ヘ明クテ是一部如明ノ文ニ乾ク

口法物指ノ義ニ頌ト度キナリ出ラ向白一部口法ヲ物指

スノ偶ニシテ何リ疑号ニ只信乃ノ二ツノミテ答テリヤ答曰之也

明ハ口法ナリト虽疑ヲ立ツニ宜リ句アリテ宜リ百ニ背キキ名

句ヲ取リテ簡畧トシ目ヲ立ツノモ其如明ノ名同名數ヲ一及

ニ答ケテ連ラヌキニヨシナシ故ニ今口法ノ中ヨリテ信乃ノ二ツヲ奉

クル共ニ其ノ因ノミ乾ク答テリルリ故ニ信乃ノ二ツヲ奉クルニ口法

自ラ備ル如何トモナリト惣別ナリ行ト名号ナリ佛ノ名号ヲ以

テ教侍トスル吾祖真実なりテ定テ名号ナリヲ以テ真実存  
ノ体トス故ニナリヲ考テシテ自ラ偽ルナリ又佐證ニ因リテ  
心不果ナリ故ニ因ヲ考テテ果ヲ損テ故ニ如明ニ口説テ其極要  
也信ナリノニツ故ニ初後ヲ畧シテ只中ノ因ナリ乾テ冥名ヲ  
定テ主ヲ昧一部ノ物標ト爲ス必ス宜クアテテ例セテ親至ノ名  
昧佛自ラ説テ其至名親極条同主尋ト依正主伴備ニ昧目  
之也今現ニ昧又知正報ノ肝要ニ主在焉ノ重キトシテ上  
ヲテ只親元量壽經ト名クルカ如レテモ如明ニ口説テ其極要  
ヲ取リテ信ナリノニツテ以テ名ヲ得テ知レテ口説テ其極要  
中ニ建立シテ其自又生ノ因果ニモテ也三至ノ如後モ其ノ只尖  
口説テ其極要ヲ以テ也七相傳持ノ法門モ其ノ口説テ其極要  
外ニモ其ノ吾祖六卷ノ本書ヲ制シテ其自又生ノ因果ニモテ  
ヲ見ルモ其ノ所ニ今尖ニ信傳ノ其極本六卷ヲ小振リテ重

頃統攝シテ物格陀羅尼ニ付テ此偶ヲ以テ此物格ノ偶

ト救ヘテ是ヲモテ実義ヲ示スルコトヲ以テ今此物格ノ偶

ヲ以テ大意トシテ先此抑足ニ末此ノ義ヲ吾祖自ラ直実

信ノ偶ト判スルコト此義ヲ傳テテ末此ノ義用テ此ノ

ヤ答曰何リ祖ノ義ヲ取ラズルヤ此如汝等ノ分別今此物

格ト云々全ク末此ノ始創ニ非ス已ニ是レ正信今此偶ト見

テ是レ此物格ノ義ニ非スヤ此ニ吾祖更ニ又別意アリ別名ヲ

出シテ直実信ノ偶ト云々是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト是レ祖ト

正信念佛トモ也。是行信アリ。四法豈備ハラサラニヤ。信キテモ孤立  
カス。故ニ吾祖ニ曰法建テ聖ヲ奉リ。今此偈又條然トシテ四法以  
カレン井ニ文面ノ題意ニ均シテ。四法惣括ノ義ト云。又祖意ノ別意  
アリ見ル。真実信ノ得トスル。尤モ此一義。總括ノ大意ナリ  
トスル。深ク思フテ知レキナリ。上未大意ノ一科。畧井シテ

第四會

音晴九

正信念佛偈。才三。跋目サテ此跋尾。一部ノ惣標ニシテ一部始  
終ニテ引キ束スヲハ。跋故。是又肝要ニシテ人々此跋。才ヲ解スニ彼  
ノ慈恩家。習フテ。初ニ離釈ス後ニ合釈スレ。初ニ離釈ス  
先ツ正信トハ六箇。初ニ末十六。正者對佛對那對雜信  
者對止。是今是對行。就此行法。能信名止トナリ。正者ノ字  
ヲ釈シテ人々スル。此佛正邪正雜ノ三對。乃卷終ニ思  
免物。祖師ノ教。今佛正一字。上ニ義合シテ中正トモ方正

トモ紙正トモ就シテ中少中ニ正的ノ中ヲ平云リ具中ニ傍ニ對シ

テソハサテナラヌ又真中ト云るノ今法ニ合ズ前二後一傍乃ヲ取

テ正昔初トシテ信ヲ云フニ傍傍ノ人今ハ只本取名号正定昔正傍

アリト選ビシテ又傍正ト云フ物ノ正ニテ四角四面ニシテ者ノテ

丁又ヲ正ト云其身ヲ對シテ邪ニ對シテ又斜又云る

日脚ノ極ニテヲ斜日ト云リ起信義記上凡ニ大章ノ正ニ

云テ狀ニテ止マヒラヒんカス故ニ信ト云ヒ邪ヲ云ハカス故ニ正ト云ト

一切外道ノ邪信ニ對シテ佛性ヲ信スラ正信ト云ヒ卷六ノ本ニ

右涅槃經ヲ引テ何ヲ明スニ二種一ニ信正ニツ信邪或因果

探無或外道ノ非因カテ信邪ト云又紙正ト就ス并ニ者ノツ止

リテ雜ラヌヲ云リ者一ニ順ト止ニ順ノ字故ニ世ニ正味正真ト云ル

ノ正ラ故ニ今ニ雜ニ對テト法華ノ正直捨方便ト説リ加リ醍醐

ノ妙味紙一天雜スラ云リ身ノ就乃五侯ノ乃ニ就テ正乃雜

ノ妙味紙一天雜スラ云リ身ノ就乃五侯ノ乃ニ就テ正乃雜

ナリヲ分ツヤリ 雜ノ言ニ 兼ナリヲ 想スルニ 十波 四羅 密モ 五種  
ノ 正ナリニ 聖トスルニ 雜ナリト云フ 其 借ナリニ 就テ 信ヲ云フニ 雜  
信ヲ云フニ 其ノ 兼ナリヲ 用ヘス 只 此ノ 正ナリニ 就テ 信ヲ云フニ 故ニ 正  
信ト云フニ 已上 此ノ 傍ニ 雜ノ 三對ニ 先ツ 第一ニ 信ニ 對スルニ 兼ニ  
雜ニ 終テ 撰テ 五正ナリノ 中テ 助正 兼ナリノ 雜ニ 終テ 撰テ 正  
第一ノ 移名ノ 正定 要事ノ 合佛ヲ 信スルカ 振テ ソノ 心 專ニ 合ノ 正  
信ナリ 此ノ 雜ニ 終テ 對シテ 正ト云フ 又 次ノ 邪ニ 對スルニ 所有 外道  
ノ 邪ヲ 撰テ 凡スルニ 又 才ニ 義ニ 佛ノ 中テ 合佛ナリノ 外 該ト  
兼ナリノ 雜ニ 終テ 撰テ 正ニ 對シテ 此ノ 六波 四羅 密ノ 所有ニ 濫ヲ 撰  
ビ 又ト云フ 已上 是テ 正信ノ 正ノ 字 畧シテ 終ス  
サ 次ニ 信トシ 止ニ 對スルニ 今ナリニ 對スルニ 止ニ 對スルニ 信トシ  
人ニ 隨ニ 言ニ 從ヒ 人ノ 字ニ 人ノ 言ノ 字ニ 人ノ 信ト云フ 之ニ 人  
ノ 言ニ 信ト云フ 必ス 止ニ 對スルニ 故ニ 止ニ 對スルニ 四諦 三法ノ 理ニ 對



直ニ身体ニ就テハニ對ス信乃一様アリト云ク○サラ次キニ合

佛ト先ツ念ニ意合ト稱合トリニ義分シテ覺果ト云ニ常思アリト

又劉熙ノ尺名四之にはニ念者黏也意相親愛黏着不能

忘也ト是レ心ニ稔リ就テ常ニ心カリトアリテ居ル字義アリ又今

順ニ心ニ順ビ人テノ声テハテノト云意アリ之信ノ念ト云ニ信合ノ

信ト云ニナ意合アリ唯信又意付也憶念者信心實人本

取リ常ニ思ヒ出レ心ノ絶ス常スアリト之念ニ明記ナク義

ト云ク是リ又稱合ノ義口ニ稱合ラ合ト云モト云ル合稱是

一ト又レ云ク起レ之ニ唯佛書ノニナラス佛典ニモ梵文而合ト云

ヒ又今毛詩一卷ナト云モ此皆声ト出スレテ書ヲ讀ムトシ合ト云

故ニ并ニ乃至十合ヲ下至十声ト尺ニ專合天早書佛ヲ專稱

佛名ト云ク合テ又ニ合佛ト云ニ即テ稱合ノ義也同テ云合稱

イヨク一見一ナラニ只稱佛ト云テ然レキヲ合佛ト云レル殆何合ト云



中今了了 移名八念佛 向ラロ乃取品ニ也 移八念佛 浅ナリ深ニ至  
ルトアリテ 了了念佛カ尤モ浅キナリ 故ニ今其尤モ浅キ移名念佛  
ヲ取ルニ何 答曰是汝ノ本取ニ於テ之レ浅中ノ浅スル 移名念佛  
ヲ取ルニ何 答曰是汝ノ本取ニ於テ之レ浅中ノ浅スル 移名念佛  
折トシテコカ重道一代ノ法ヲ 異ナリテ易乃ノ至極ニシテ 移易  
ノ保ツ易キ名号ヲ五劫思惟ノ 心業シホスモトク 名号 故ニ聖道  
門ニ於テ 浅弱ノ念佛ト云ハ 今抄意尺ノ乃 意ヲ之件 止抄  
名念佛ニ於テ 其意重天他 方便了 我チラタヤシク 助ケテ 極  
最上ノ法 知一

第五會

六日 炎天 九十六度

サテ次ニ偶ト具カニ 偶陀爰ニ頌ト翻ス 西域記ニ 仁曰ニ偶ト云  
キ 亦アリ 畧ナリ 或ニ偶陀ト云 殊ナリ 詠ナリ 今正音ニ 隨ヒ 宜ク  
也 陀ト云シ 唐ニ頌ト云 頌者三十二言止ト云 常ニ偶陀ト云 戒悔

ト云如リ梵漢新物アリサテ止傷頌之乾テ楞老義疏上  
 凡傷頌ヲ論スニ凡テ口種アリキアリテ身口種ト一阿  
 蕪卒都漢頌又ハ數多ク傷ト云之ハ大竺エテ至命ナドク數  
 テテ華ヤト云ハ十萬頌アリト云如リ文字ノ數ヲ數テハ長クハ並  
 傷ト同スニ二十二字ヲ一傷ト云ハ義テ之ハ數ヲ數テ傷ト云アリ  
 二ハ伽陀ノ傷受ハ諷頌トイヒ或ハ直傷ト名リ之ハ孤起ノ傷テ  
 大重テ云ハ先顔ハ魏カノ傷ノ如シニ祇夜ノ傷テ之ハ唐傷  
 或ハ重頌ト云ハ長ク尺ヲ尺ヲ復テ長ク又重テ傷ト云ハ結トテ  
 示シテ重頌ト云ハ二ハ温陀而ノ傷ト云ハ集施ト翻シテ法數ト  
 ヲ云ハ一易クハ様ニ文ヲヲ揃ヘテ集クハ俱言テ之ハ思敬ト云  
 アリ善クノ數ハ何本アリト賞ハ易ク様ニ傷頌ト云テ人ニ施スヲ  
 集施ト云身中今止止後傷ト云ハ孤起ノ傷ト云吾祖佛恩ノ深  
 因ハ入リテ信知テ佛徳ヲ資嘆テ乃人信ノハ結トテ百馬

孤起偶有亦玄又祇在蘊陀市也兼又子高也也  
ヲ惣括シテ上長乃相在シ室ヲ四居ノ惣義ヲ諷誦シテ  
存ノ在頌トモエリ又少字多義ヲ撰テ他ニ施シテ他ヲシテ頌  
ヤシクアリヨリ温陀市ノ集施頌ト云シ問テ曰凡テ經論釈ノ中  
偶頌ヲ用ルル何ノ由ナリ又白ク之ニ夫望ノ國凡トシテ國王大臣  
或ニ父母弟長又ニ三字ヲ查嘆ス又并ニ多分偶ヲ免テ查嘆  
スト云國凡テ今吾祖ノ知恩報德ノ由ニ佛從師從テ查嘆  
シテ十市ノ有縁ノ間カシコカカノ偶頌ニ結ビテクナリ尚テ其  
佛從師從テ查嘆スニ何リ偶ヲ用ユス夫ホリ了セヌトアラヤト  
況ヤ偶ノ歌詠ニ似クルヤ歌詠ノ獨頭ノ詩語ト戒テ多ク仙  
法ニ用ユエカラス如何答云之偶ノ少字ニ多義ヲ撰テ言畧シテ  
能リ多義ヲ撰テ解ス易ク保ツ易キ様ニ偶ヲ以テ查嘆シ  
テ且ツヤヤ云云難ノ如キ之成定命ニ負向答リ答キケ

テアリ 其成 実命師ノ破ニ 佛法ノ上ニ 法トシテ 偶ヲ作入ニ 佛自

ラ 偶ヲ誤テ 法義我ラ 量ガ 故ニ 十二部中ニ 祇存ノ 偶 又カ 故ト

アリ 之ヲ以テ 知シ 一ニ 氏ニ 吾祖ノ 山 偶モ 今ノ 相店 頌ノ みの 春 嘆

訓 誦ノ みの 集 施 徳ノ 折ノ ぬナニ 山 偶ヲ 作シテ 外ナラズ 責

メテハ 加 様ニ ロシテ 佛 恩 報 又ニ ノ 勤ノ ミモ ヤリ 又ニ キトモ 思ヒ 又

同リ人 アラハ ナトカ 同ニ 心ニ ナララント 思ヒハ 一リトノ 考ノ 甚 重 而ノ 意

モ 今ノ 吾祖ノ 意ニ 異ラズ 一カラス 上 床 正 在 今 佛 偶ノ 五 字 離

釈ニ 決ム ○ サラ 次ニ 正 信 今 佛 偶ノ 五 字 又 合 尺 又 キニ 之 慈

恩 密ノ 六 合 尺ニ 習リテ 并 又ノ 一ニ 或ニ 二 字 或ニ 三 字 四 字 之 尺

カニ 故ニ 八 十ニ 丈ニ 習リテ 合 尺ヲ 設リルリ 先ツ 正 在ノ 二 字ヲ 合 尺

又 并ニ 之ニ 六 字ニ 尺 又 知リ 正ニ 傍 邦 雜ノ 三ニ 對 又 尚 蓋ノ 言ヲ

正 在ノ 二 字ノ 依 依ノ 信ノ 依 責 尺ニ シテ 傍 信 中ニ ナリ 正 定 之 事

名 号ノ 信 又 正 在 故ニ 正 信ノ 依 五 尺ナリ 又 正ニ 方 直ニ シテ 下 方

名 号ノ 信 又 正 在 故ニ 正 信ノ 依 五 尺ナリ 又 正ニ 方 直ニ シテ 下 方









其地多義已見的中ノ義ニテ正義ニ先初ノ句ニ由偶ヲ  
作ルニ執テ却ニ所看ル佛ニ皈敬ス故ニ初ニ佛名ヲ以テテ所看ル佛  
ヲ皈敬スヤ却カテ句ナリ次ニ法苑并ニ已下ニ廣ク却ノ因ニ由  
上ニ多也ノ從テ查嘆ルニ為リテ以テ正義ヲ由義カ的ノ多ノ義ヲ  
サテ身皈敬スニ付テ畧述ノ二義ヲ以テテ此テ至命尺ノ句ニ  
三字ヲ皈敬スニ由佛ノ通規ナリ先ノ至テニ菩薩應尼乾子  
至ノ却ニ如是哉聞ノ前ニ皈敬大智海毘盧舍那佛ト云  
云ニ句ナリ又大業項王明ノ初ニ皈敬大智海山滿正覺尊ト云  
ル其他能斷般若至正法念軍ホト云々又命ニ智度命人  
佛ノ尺テハ此ノ三ノ頌ノ初ニ替首唯識性滿分清淨者等ト  
之皈敬ノ又リ又對法疏及賢首ノ探玄記ホモ皆皈敬  
ノ偶ナリ又世ノ二於テ執對ノ十使命天親ノ按命見ノ查認  
ニテ初ノ六字ノ品等号ヲ以テケテアリ又ニ至送門テハ世界三寶

又、決伊前、敬教え、世の功、存し、敬教して、六家、名号  
ヲ考テ、之カ、書師ノ尺ヲ、元旦、書師、習フケ、正尺、集ノ印、六字  
ヲ、考テ、テ、アリ、書目、之ヲ、和氣、シテ、考、功、爲、和、考、ノ、印、市、佛、愚、虎  
親、書、作、上、リ、之、ウ、以、テ、之、ウ、尺、シ、之、敬、奉、天、早、并、如、来、キ、ト、敬、教  
ノ、め、シ、テ、名、号、ヲ、考、テ、ケ、テ、ウ、ル、ノ、功、アリ、其、ノ、功、敬、教、マ、ル、シ、テ、  
敬、教、え、如何、ト、云、得、前、ノ、文、大、体、ヲ、ウ、テ、心、ヲ、知、ラ、シ、メ、テ、アリ、即、チ  
命、注、リ、尺、列、テ、大、親、并、命、ウ、テ、ウ、テ、就、テ、也、佛、告、ケ、テ、五、世  
尊、ト、云、言、シ、置、テ、尺、世、尊、ノ、言、ヲ、尺、云、就、テ、丈夫、敬、佛、切、存、子  
之、敬、父母、忠、臣、之、敬、君、右、勤、静、那、已、出、没、必、由、理、宜、先、啓、ト、尺  
シ、テ、并、佛、以、テ、任、ス、ル、存、弟、ノ、父母、敬、テ、忠、臣、ノ、君、也、敬、え  
カ、如、し、起、居、勤、静、我、カ、伏、セ、サ、ル、如、ク、今、佛、弟、子、タ、ル、モ、乃、任、座  
臥、ノ、所作、先、世、尊、并、佛、敬、口、稱、キ、筆、下、墨、マ、ク、皆、化、申、シ、テ、  
ル、此、カ、当、リ、前、テ、大、親、并、親、生、佛、ヲ、伏、シ、就、テ、先、世、尊、子、ト、告、ケ、テ、アリ

今テ丈ニ例シテ仙恩ノ深恩思ふるヲ知シテ傷前ノ又ニ早ヤ豫ノ爰  
ノ二句ヲ巽キケテケテるヲ示シテアリ依ラズニ句金ヲ所考スノ當り上  
ケテ敬教久恩思ふニシテ次ニ所取不輕着如未不加威神將  
何以遠乞加神力所以仰告ト之命ヲ作人ノ力ニ義テ加被カテ  
乞ハシカメニ敬教ニ事ト云義ヲ并ラサマ加被カテ借リテテ次ヤ  
吾祖何ソ加被カテ乞(云々)之吾且所取不輕傷リ有縁ノモ  
ノ之ヲ同カセテナトカ同心ニナラント思ハ召シテ信傍ヲ因縁ト  
シテ信集ヲ乳カニ显ス妙果ヲ安養ニ显ツカント自力化也輕  
アラカレ故ニ仙能ヲ有嘆シテ有縁ノ爰ヲ利益セント思召リ  
此ノ此ニ所考ノ佛体ヲ敬教ヲサシテ依ラズニ即テ亦  
トア詢佛アリア詢ノ三字ニ先身ニ從フ傷(云々)此ノ名号  
ヲ巽キト一般アリ此ノ此ニ佛文故ニ有嘆ス(云々)同テ云  
佛ニ先身ノ從リテ善信ノ主アリ何ワ先身ノ二從ノモテ巽ケテ

所考ノ侍トスヤ 答云之ニ就テ要解ニ他義ヲ設ケテ一ニ  
撰代為申ノ義ニ在サ撰多ク義三ニ最照互用ノ義也  
リニ依重為在ノ義ヲ其助後ニ更ニ義ヲ加ヘテ一ツニ極西希  
卷ノ從ニリニ最寧ノ義ト之ヲ加フニ六義トモ如見多義也  
的中ノ義ト思フ義トシテ何トモ之ニ最照ノ為ニ協名  
シ考ケテシテ多ク 的ノ義トモシテ何トモニ直報成ノ即ノ佛  
名ニ生壽ニ從テ佛ノ常ノ如ク生也天早スカ故トア約ト名ツ  
ケテ年天早スカ 的ニア約ト名ツルニ佛ノ直義ヲ大皇ニモ  
天早壽天早光佛トアリ又法華ノ壽早名ニ惠光照天早壽命  
天數却ともテアノ法華ニ如ノ直報成ヲ免クモテ次中約ノ  
直報成ニ從テヤ直佛也ノ義ニ二十二十三ノ義ヲ西ホシテ不至  
及大皇ノ因取成就ノ文ヲ引テ直報成ノ佛ニ生壽ニ從テ  
佛ノ直報成ヲトホシテアリ生ニ直報成ノ果体ヲ存スル故ニ

次者ノ二流ヲ以テ中ニ義アリ 同云大至ノ次者ノ次者トアリテ

アリ今者光ノ次者ニ以テテテテテテ 答云是レ他門ニ以テテテテ

門ニ以テテテテテ他門ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ

テ横ニ十者ヲ照テ 光者ノ次者ニ以テテテテ 三冊ヲ利益テテテ

光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 他ノ門

次者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 後ニ以テテ

之ニ大至ノ十二光ヤ 稱テ光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

依ノ者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

ト云テ又元祖ノ漢語燈七ノ三十三ニ 凡佛能ヲ命テテテ 光者ノ次者

光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

佛異名アリトアリテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

後ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者ニ以テテテテ 光者ノ次者

○  
昔且皆弄余元早う作トス先明り用トスト主ク是ヲ以テ知ルシ先  
ツテロロニ是レマテ

四第七卷

八日晴天

取余天早弄如弗止 前席ニ先弄ニ天早ノ次オヲ弄シテ次ニ

取余ノ二字ヲ弄スニ 出 取余ノ子ノ 出 卷ニ 二訓ヲ弄ケテテ 精リ

尺シラバハ 八ノ 出 卷ノ 二訓ニ 因者ニテ 出 偶ノ 上ノ 取余ヲ 尺スリ

先 取余ニラハ 出 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ

ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ

取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ 取余ト云ハ



海より出テカハシ故ニ元早舟海ニ版入スル  
版原正義ナリ已上惣  
レテ也義トス右也義ノ中鎮西テノ賢首ノ御義ヲ正シテ依用シテ  
力ニ義ヲ多クテ用スル西山テノ還原ノ義ト密家ノ義トテ  
依用スル若シホウニ今家ニ多クノ賢首ノ力ニ義ヲ依用  
スル即チ銘文ニケ知出スルテ本ノ川右ノ版原申ス如事勅  
命ニ順ヒ奉ルナリ又事御ノ版原ト即チ勅命ニ尊ノ勅命ニ順ヒ  
召コト申ス出言甚多ナリ即チ賢首ノ力ニ義ニ曰ク  
テ去リテ賢首ノ自力聖道ノ意吾且此他カノ意破  
ル意大ニ遠クテ賢首ノ命ノ法布ノ版原トは教順スル共  
ニ自カテ教順スル版ニ今家テノ力者ノ版順モ自力ト云  
ハス順ヒ奉ルル者ノ意ト遠ヒテ也其版原心カ力者ノ  
智恵ヨリ生ヤセシコト全ノ如未回向ノ意テ吾ノ版順ヒマ  
ル作セヨリ呼ヒ定コサテ定リス版原故ニ全ノ他カ力依テ力卷

三般若二字也。法の約なり。般若名上の本取招喚なり。般若なりと云ふ之  
今より尊なり佛一ありたり。即敬名義也。右に西山片上の人ありて呼  
ぶ。止より又曰。十三右に。多悲心ヲ以テ招喚ス。又玄義命之愛ハ  
遺。彼を呼ぶ山宣去カ可シヤトアリテ。此より方。般若心ナク二  
尊ノ勅命ニ引キ起シテ。般若名上ノ起リテ。今より他方回向ナリト  
云カ。今より衆別違フ。比尺ナリ。精リ。心義。般若ノ字訓尺ヲ研究  
セヨリ。今より同各シ。

サラ次。天早弄如未。山。天早弄ノ三字。母。ア。動。愛。天早弄又リ  
天早弄ト翻ス。下。更。林音義。ナ。代。弄。作。り。光。同。ナリト  
アリテ。妙。ナ。二。向。二。体。用。ノ。二。從。リ。上。ケ。テ。弄。一。ナリ。即。從。リ。想。ク。心。ナ  
其。一。ナリ。從。ト。云。四。智。三。以。ナリ。四。證。ノ。即。從。神。通。光。以。ナリ。外。用  
ノ。從。リ。悉。ノ。山。光。弄。ノ。二。從。ニ。想。リ。尺。尺。え。意。ナリ。佛。ノ。横。川  
ノ。親。心。客。二。當。集。ト。空。假。中。ノ。三。諦。佐。報。應。ノ。三。以。ナリ。尺。シ。テ。有。テ





天色无形、悟成、形ヲ显シ出名ヲ示シテ果後ノ方便  
ニ悟成比丘ト墨シ四六ノ大乳ヲ起ス永却ノ名乃湯足シテ十  
却ノ噴キニ正覚ヲ成シテ本乳成物ノ報成如来ナリ夫  
種ノノ成ヲ現シテ大乳ヲ利益シテ如月ノ来生シテ  
ノ玉一シテテ如来ト一如月ノ形ヲ現シテ報成如来ナリ夫合

第八會

九日大雪而アリ我乃有淺雷ス

而元不可思議也止  
ニ依リ玉一テ銘又本ノハ在ニ佛ノ字ヲ加ヘテ而元不可思議也佛  
トアリ今偈文故ニ句取ヲトノシカガノニ佛ノ字ヲ除テ我佛  
ノ偈ノ依シテ出テテテテ并而元トモニ取多ク我語ヲ上ノ句ニ漢語  
ヲ挙ケ今ニ我語ヲ上ク我漢ノお違テ若シテ上ノ句ニ漢語  
前後ニテテ挙ケテモ亦ハ上ニ漢語今ノ句ニ我語ヲ上ク也  
ニ之ニ知依ノ依ヲ挙ケテモ上ノ句ニ天教ノ此命ニ依テ取

今年早壽如來ト云ヒ今テハ吾佛ガ命ハ故ト見ノ偶ノ依ヲ上ケテ

市天不可思議光ト云フト見一タリサテ不可思議光ト云フ佛如ノ

ヲ稱一テテト云フテ大至ニ依リテ十二光ツツカフクニ他名アリ聖ニ

最尊カト云フテ佛ノ光ハ及ハル知之上ト云フト對テ

元早光ト云フ其天早ノ光ハ心縁及ツス口業縁ト云フ

語邊斷心カ知滅ノ元早光ハ故ト云フ不可思議光ト云フ

已上早光ト云フ初ノ二句并ス終ス

法苑ニ菩薩因位時在世自在王佛所止ニ能資ノ方ヲ

列シテ廣ク看スニ初ニ依及分ニ依及分初中ニ初約

沙木照テヲ明スニ初ニ依及分ニ依及分初中又ニ初ニ沙因

果ヲ明スニ初ニ依及分ニ依及分初中又ニ初ニ因縁ニ果海

初中ニ初ニ因縁ヲ示シニ初ニ依及分ニ依及分初中又ニ初ニ因

依及分ニ初ニ因縁ヲ示シニ初ニ依及分ニ依及分初中又ニ初ニ因



此義六日五ノ義尺十一ノ凡右ニ故音ノ如羅跋曼ニ藏ト云之

母胎内ニ子ヲ納メテ曼如リ外ニ動カザルカ花ヲ梵ニ曼摩

也留曼ニ花ニト云也留曼ハ如留曼也留曼ハ如留曼也留曼ハ

外ニ敬失セズ包ニテ様ニ納メテ居ルカ花ニ次ニ并ト具ニ

并ニ薩埵曼ニ覺有情ト云止并尺名ニ智命五ノ佛智命ニ

止无性命一トニ出テ、以下ル如上求并下代曼ヲ并ト名ルテ今

花ニ比丘ト云止并二天早ノ正覺ヲ并ノ下モ十方ノ曼ヲ化ス

テ改ニ并ト云テ次因位時ト云惣ニテ果上ニ對シテ花并ノ梵

并ノ并ヨリ又々ノ滿足ニ云テ因位時ト云多ク曼合ニテ花并ノ因

位時ノ一句終ル

在也自在王佛所觀見諸佛淨土因國王人大之善惡

ニ心ヲ起スルニ四ツ初見出極テ止ニ云花并ノ超世无与本

取ヲ起スルニ執テ先ツ十方諸佛ノ杜ヲ見テ知シテ諸佛化ラセ

竹見ノ上真中より 選尺現取ミテ 超世ノ本 取テ起シ至リカ選尺  
 本取ノ大依リガテ世自在王佛ト見大皇ノ功ノ文ニ世饒王佛ト  
 見平壽世受平ア大ア功至ニ 執名ヲ奉ケテ 權惠直四組ト有リ  
 如未會ニ世間自在王トアリ 見速文倉中ノ十ニ 於一切法得自在  
 故トアリテ 見自利ニ功ヲ 尺アリ又玄ニ世間利益自在故ト利他  
 ニ功ニテアリ 何ニ之ニ自利自在ニアラケレハ 利他モ自在ナラ故 自利々  
 他々ニ自在故ニ世自在王佛ト名ツク 依テ見ニ 慍貞モ玄ニ意一  
 致ニ取スリ 饒王佛ノ尺名モ 慍貞ニ 饒ト云テ 尺アリ 自在ヲ尺スノ  
 上トノ玉ニ 玄ニモ世饒ト云ニ 自存義アリト 尺ニテアリ 饒ニ豊ニ 饒  
 ノ義テモノ多ク 豊カスルヲ 金持ニ云ト 一切自在ニ云 夫カ自在  
 ノ義アリ 貧乏ノ 捧カ次ヲ長ク 振リ下シ又 年ノ暮シカナト  
 貧乏ト云ハ 不自在スルヲ 知シ 世間カ豊カスルヲ 帝ケテ 大平ノ  
 部ニ目ニサノカドヲ云ツル人ナシ 知一シ





依テ是尺集ニ於二百十億佛在中トアリ吾且ニ十方サノ申テリ  
本乳子尺根取スト多ク之ヲ以テ知レシ向云吾且已ニ十方サ中ヨ  
ク本乳子尺根取スレバ穢土ト通スレバ難クハアラズヤ答云  
心見ノ土ニ土ト通スレバト云テモサテダゲテテ例ヤ維摩手ノ隨  
貝心淨即チ佛土淨ト云ク如ク舍利弗カ見テ瓦礫散轉ノ  
土ト見レバ螺貝長吉等土ハ土ト見レバ如ク知レシ先ツ

第九會

百晴天

建立无上殊勝取止  
時彼比丘聞佛所說乃至殊勝之類ト云カ正チ初チ一ツノ依リ也  
多ク句々如來會ニ彼法花比丘廣ク云如是大死折テ取皆已成就  
世間希有ノ文ニ依リテ大至勝力段ニ云云此折テ建立也取已ト  
見ト同意アリサテ文ヲ解スレバ建立ト云テ速文負ニ建ト云テ立ト  
起テ成テトアリ又仁王良貴ノ疏一ニ初チテ起ステ建ト云テ終

成 之ヲ 立ト云トアリ 今 只 二字 就ニテ 立ツト云テ 了リ 了リ 天上ニ 大業 美  
 章 十ノ 五ノ 言 无 上者 嘆 勝 辭ノ 言トアリ 只 勝レルヲ 嘆  
 又ト云ハ 一 處ノ 有 嘆 十 位 命一ノ 只 更ニ 無 勝者 故 天上ト云  
 上リ 此 法 花ノ 又 天 乳ノ 供 佛ノ 乳ニ 超 過ニテ 之ニ 上 超ス 之ヲ 故  
 无 上ト云トアリ 殊 勝カト 殊 特 超 勝カノ 異ニテ 各 別ニ 勝カシク 殊 勝ト  
 云リ 乳ト 希 求ノ 美テ 具 作ニ 五 別 境ノ 中ノ 故 心 知リ 呂 根  
 天 部ノ 三 性ノ 中ニ 呂ノ 心 知リ 之カ 法 花 并 五 王 種 性ノ 比 位ニ 究  
 乳ト云ハ 出 世 天 漏ノ 智ト 托 意 又 天 乳ニテ 只 一 處ノ 乳 亦ト 遠  
 一 探 玄 祀セノ 五 々ニ 期 求ツ 乳ト 名ノ ルトアリ 心ニ 此 度 要 期ニテ 乳  
 已 求 久ヲ 乳ト云リ 次ニ 超 登ル 大 聖ニ 超 登 无 上 殊 勝 之 乳ト 究  
 キ 我 建 超 世 乳 又ニ 超 出 世 間 氏アリテ 世ニ 超ス 大 乳 乃 并 之ニ 就テ  
 淨 影ノ 美 我 山 寂 法 花 并 地 上ノ 芽 故 地 前 三 賢 位 并ニ  
 勝カシ 故ニ 超 世ト云ク 殊 勝ト云ク 又 久 久 今 家ノ 息ニ 由ル 三 世 十 方

ノ 談佛ニ超ハル本乳故ニ超セリ本乳ト云フ吾祖ナリ之ニ元且モトナリ  
其思召テ和語燈ノ一ノ右ニ佛ニ自ラ我建世乳ト名乗リ玉リ  
三ツイ佛ニ希有如足キノ乳ヲハス天ニ玉リト云且之ヲ羨テ唯信  
文意ハ右ニ超セハ今佛ノ比極ニ勝シ玉リトナリト之ニ聖道ノ  
供師モイヤト云ハシ又聖後分ノニシテ即チ大至ニ超踰十方一切界  
トナリ又即チ支那ヲ最尊才一談佛支那所不能及トナリ其他談  
佛中ノ玉リ支那中ノ極尊ナリトモアリテ其カニ至リ談佛ノ超ハルト  
己ニ談佛モイヤト云ハシ又ナリ也常並ノ地上ニ超ハル位ニ非ス談佛ニ  
超ハル超セリ本乳ト云フナリ次ニ希有ト對極疏一ノ九七ニ世ニ  
曾テナキ也ヲ稱シテ又希有トスナリテ之ニタテテワレドナレド  
非ス曾テ外ニナキナリテ希有ニサテ次ニ大弘極トシ弘極トシ止境  
轉ル會本一ノ四九ハ九ノ弘トシ廣ナリ極トシ約ナリテ若不佳者  
不取正覺ト極トシテ十方ノ效ヲヒトシテ助ケトスん極ニ乳故ニ弘極ト

云々あり又ハ六ノ字ヲカハラセ夫ハ六ハ大多勝カノ三義アリテ尖乳也  
 需一様ノ渡入故ハ六ヲ敬也ナリ多ノミナラス縁致油豆天皇  
 大教ニ之多アリ身上超世天上ニ勝リ依テ大弘誓ト云改邪  
 勤ニ只男也呂恩ノ良夫ヲ働カカヌ本形ニテキトアリテシヨ本教  
 諸佛ニ超レ勝ルニ元上殊勝ス知テ希有ノ大弘誓ト云テ  
 向云信花并伊佛ノ世ヲ為スニテ堅尺ニシテハ其位何レ位  
 下ノヤ之何 各々之ニ就テ伊佛ノ里ハ良事ヲ七受アリテハ  
 累名ノ今家ニ於テ之ヲ初地ニ上ノ双乳ト云テ其故何ト云ハ  
 命注上ノ信ヲ性印也ノ性ノ字ヲ又シテ性ト云ハ之聖種性アリ  
 キトアリ六要抄五ノ凡ハ聖種性ト即チ十地ノ名初地ノ中ニ  
 ラ六ハノ乳ヲ受ス入己ニヌトアリテ初地ニ上ノ双乳ト云テアリ  
 已ハ大聖ニ其心寂靜志無所着一切世間无能及共ト云テ三  
 賢位マテハ一切世間ノ内ナリ地上ニ出世間故ニ世間无能及共ト云ハ

地上之邊にナキナリ曾ツ又禽テ云々此命に聖之六慈心出世と根生ト  
アハ地ナリ天漏ノ聖智ニ邊ニナリ身天漏ノ聖智ナリ起テ決深  
羅密ノ力ノ平等ノ大慈ナリ成就せん安楽ニナリト云ハ命判ナリ  
レハ地ナリ并スるもの白ナリ身上実ニ信花並ニ果淨ナリ方便ニナリ  
久遠ニ成リ古佛任リ十劫正覺ニ成リタリト云ハ義ナリ  
已上略シテ天乳ノ句終ス

○五劫思惟之根受止 三ニ思惟向ニ信花并ニ天乳スニ思

惟シテ後ニコソ天乳ニ申差スニ天乳ヲ先キニおシテ思惟ヲ後ニ出

スニ云ハ答云之ニ依リ双ニ聖文ニ具足五劫思惟根取トナリテ

上ニ天乳ヲ仰シテ此天乳ニ用易ナリ天乳ニテラス五劫ニ思惟シテ

天乳ニ云ハ天乳ナリト云フ意ナリ并ニ此五劫ノ了リ先ツ劫ト云ハ

音義一ノ凡具サニ羯臘波ト云フ受ニ翻シテ長時ト云ハ命業

十五劫ノ數奉テ分別時節ト云フナリ此ノ劫ニ我信ノ因ナリ即チ

長計するあり之に大中中あり先之法に依る但舎の世間品に増減  
 あり小劫と云ふに二十ヲ中劫と云ふに八十ヲ大劫と云ふに千ヲ小劫増減に十文  
 あり百年に一ツヲ増減にテ八万四千歳に至るヲ一増と云ふ又百年に一ツ  
 減にテ人壽十歳に至るヲ一減と云ふ如是増減するに一指遍たり  
 一中劫と云ふ八指也又一一大劫と云ふ二二喻之約也第安条集上  
ノ四十五 右に智命あり一ノ凡三三十八ノ位あり初に芥子  
 劫之小中大あり四千里ノ城ト一指里ト百九里ト長壽ノ訣入三年  
 一粒ヲ尽るノ喻あり又般石劫ト曰り四十ト八十ト百九里訣入三年  
 天衣ノ重ヲ三鉢と云フ以テ掃フヲ石ノ尽るヲ一劫ト云ふ今地花  
 思惟ノ五劫六中ヤノ中何ノ劫ナリヤ此に今家に於テは蓮師ノ大意テ  
 一失一劫ト云ふ小劫ノ一劫トナラシムル意也此世自在三佛ノ壽命ノ四十二  
 劫モ度々佛に小劫ト見たり也今五劫ト云ふ小劫トシテ此相承  
 一尺ヲ字ルカ宜キナリ

第拾會

十日晴天

中失五劫思惟轉テ誤師異解アリテ淨影唱與法位義皆  
 五劫ヲ以テ修スルノ月トス口義寂々トモ五劫ヲ以テ思惟自トス取  
 今家ニ於テツツン処ノ結着ニ聖文存シテ以テ具足五劫思  
 惟撰取サ仕ツル佛國トシテ及天乳ニ就テ思惟遷尸ノ間ヲ力  
 却ト云身思惟力結スルテ永却ノ冬ノヲサシタテ今家ノ結  
 着アリ想受トシ如表層ニ悉皆想受トシテ大聖ノ想取ト云  
 受増韻ニ取リトアリ  
 重誓言名般耳聞十方止 四ノ重誓カテ依リ也三誓偈  
 我至成佛止名亦超十方止トアリテ本至ラモ四ノ乳結リテ次ト上  
 テアリ今失偈テモ上ノ句ニ六ノ乳ヲ存シ結スルテ今重誓ナリ三誓  
 ノ要ヲ取テ文ヲ結ビテアリ向云失重誓テノ偈ニ四ノ乳中別  
 シテ力十七乳得リヲ出シテ誓ニモテモ云答云是力十七乳ニ大慈



市佛大室海ヲ支ヘテ救ヒント誓ヒ玉ヒリテ其六字ヲ以テ  
回智回施シテウチムニ即テ回真名号信心相夫ノ一念ニ即得生リ  
利益ヲ得ス如カ此回向ノ功アリクハアリ貝回信サセンニ其佛拜揚  
ヤリニ回信スルニ出未スナリ也天早劫ニ誓ヒテ即信ノ室敷ラ  
或乾シテ貪心ノ窮ノモノヲ救ヘテウチム名号回信ノ此ノ利益ナリ  
三ノ名号回向ノ中ニオ二誓ヒテ相入道理アリ依テ三誓ヒテ合  
ヒテオ三誓ヒテ相入テ故シテオ三誓ヒテミテ卷ケテ傷ラ結ビテ  
〇名号トハ声トモ名アリ命注上ノ十信ノ名号トハ名ナリトアリテ即チ名  
号ノ子ヲ名号トモテ回云世属ノ君主ノ名ノ遠ク回テ名号  
スルヲ差入ルニ今之ニ反シテ名号十方トハ我カ切ハ名号ヲ好ミ名  
号ヲ好ムニ似テリ也何ノ答キ之ニ高ノ名号トハ異ナリテ我切ハ  
名号以テ物ヲ撰ブト名号ノ中ニ美名号ノ力ノ切能ク相ノテ貝  
名号ヲ以テ十方ニ双テ即ケテウチテ真名号ノ謂シテ回カレテ傷ク

助ケリテ大慈心悲マシテ誓ヒテマシテ向云此名声依報ニ通ズヤ

之有 若クハ命語ナクハ此名ニ妙声即此ノ尺シテ声ト名ナリ名ナリ

ナリ安多キト名等トアリテ依報ニ通ズル下云之ニ傍

美<sup>ミ</sup>ト<sup>ト</sup>疑<sup>ニ</sup>レ<sup>レ</sup>已上<sup>ニ</sup>花<sup>ハ</sup>芥<sup>ハ</sup>已下<sup>ノ</sup>光<sup>ハ</sup>乳<sup>ハ</sup>相<sup>ハ</sup>異<sup>ハ</sup>年<sup>ハ</sup>終<sup>ハ</sup>入

普放无量无边光 無碍无对光 天王乃至照摩刹止

二果海ニ初ニ景現体果ニ相代光絶今初ノ上末

八句ニ花<sup>ハ</sup>芥<sup>ハ</sup>ノ因<sup>ハ</sup>深<sup>ハ</sup>ク<sup>テ</sup>是<sup>ハ</sup>下<sup>ニ</sup>果<sup>ナ</sup>リ<sup>テ</sup>相<sup>ハ</sup>代<sup>ハ</sup>以<sup>テ</sup>マシ<sup>テ</sup>

先<sup>ハ</sup>尖<sup>ハ</sup>ナ<sup>リ</sup>尺<sup>ハ</sup>ス<sup>ル</sup>初<sup>ハ</sup>ノ天<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>物<sup>ハ</sup>ナ<sup>リ</sup>ナ<sup>リ</sup>別<sup>ハ</sup>リ<sup>テ</sup>具<sup>ハ</sup>上<sup>ニ</sup>具<sup>ナ</sup>リ<sup>テ</sup>

今ツ中ニ六段トナリテ初<sup>ハ</sup>ノ天<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>天<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>无<sup>ハ</sup>碍<sup>ハ</sup>ノ三<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>光<sup>ハ</sup>ハ<sup>テ</sup>ノ体<sup>ハ</sup>也<sup>ナ</sup>リ<sup>テ</sup>

显<sup>ス</sup>ル<sup>ル</sup>天<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>敬<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>マ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>シ<sup>テ</sup>沙<sup>ハ</sup>光<sup>ハ</sup>百<sup>ハ</sup>千<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>徳<sup>ハ</sup>中<sup>ニ</sup>ト

敬<sup>ハ</sup>テ<sup>テ</sup>事<sup>ハ</sup>ス<sup>ル</sup>故<sup>ハ</sup>天<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>也<sup>ト</sup>ナ<sup>リ</sup>波<sup>ハ</sup>都<sup>ハ</sup>庄<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>真<sup>ハ</sup>身<sup>ハ</sup>親<sup>ハ</sup>ハ<sup>テ</sup>八<sup>ハ</sup>美<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>

千<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>光<sup>ハ</sup>ハ<sup>テ</sup>ト<sup>ハ</sup>ル<sup>ル</sup>コ<sup>ハ</sup>バ<sup>ハ</sup>ラ<sup>ハ</sup>初<sup>ハ</sup>門<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>見<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>佛<sup>ハ</sup>以<sup>テ</sup>故<sup>ハ</sup>ノ<sup>ニ</sup>敬<sup>ハ</sup>ハ<sup>テ</sup>見<sup>ハ</sup>テ<sup>テ</sup>光<sup>ハ</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ

ラ<sup>ハ</sup>實<sup>ハ</sup>ニ<sup>テ</sup>天<sup>ハ</sup>早<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>之<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>立<sup>テ</sup>三<sup>ハ</sup>世<sup>ハ</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ<sup>テ</sup>也<sup>ニ</sup>支<sup>ハ</sup>所<sup>ハ</sup>ナ<sup>リ</sup>次<sup>ハ</sup>ニ<sup>テ</sup>天<sup>ハ</sup>也<sup>ニ</sup>也<sup>ニ</sup>換<sup>ハ</sup>テ<sup>テ</sup>十<sup>ハ</sup>声<sup>ハ</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ



光の... 佛... 朕... 其... 井... 決... 仙... 中... 最... 尊... 力...  
却... 光... 不... 上... 皇... 二... 泥... 次... 清... 淨... 無... 智... 惠... 三... 光...  
化... 他... 滅... 或... 了... 能... 光... 了... 之... 次... 牙... 如... 月... 淨... 光... 佛... 无... 貪...  
ノ... 呂... 根... 身... 放... ツ... 光... 明... 故... 之... 以... テ... 一... 切... 妙... 妙... 無... 礙...  
滅... 不... 執... 先... 天... 聰... 了... 一... 呂... 根... 身... 光... 了... 光... 明... 故... 之... 以... テ... 一... 切... 妙... 妙... 無... 礙...  
ヲ... 滅... 不... 執... 先... 天... 聰... 了... 一... 呂... 根... 身... 光... 了... 光... 明... 故... 之... 以... テ... 一... 切... 妙... 妙... 無... 礙...  
天... 明... 覺... 廓... 一... 切... 無... 礙...  
ヒ... テ... 一... 切... 無... 礙...  
一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙...  
斷... 光... 常... 恒... 不... 斷... 一... 切... 無... 礙...  
一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙...  
光... 明... 之... 語... 一... 切... 無... 礙...  
一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙...  
一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙... 一... 切... 無... 礙...









要二十七、更に和離して乃代能如様法一ナリト云ク依テ曰ク

白常史ノ果名を成キテカ友ニ同カセテ信セサセ移サセメノ本取

ニシテ友年ノ正団ニセント思召シテ成就シテ呂故ニ真書嘉号

ノ成就シテ知ノ乃体ニ友年ノ因トス義ヲ傳テアリ受テ廣

遠陵ノ喻ニ本年ノ紐カ来年ノ種トスカ如ト昇スナリ屯乃

体ニ正団トス義ヲ傳テ居テアリソコカ本取呂故ニ正定書来トス

ナリ若シテウラニ付ヤトス助カヤトスニ決シテ市ウスニ何程正定業

ノ念仏ニテス友カ信ヤリニ生ニテ友ナリ屯氏付スニ助カ利益ノ傳

テアニニ呂故ニ呂ラ正定書来ト云クナリモトヨリ年ノ書團ニ呂ニ成

就シ玉ニ足ラ信ス一合ニ年ノ書来子ノ成并スニ今家ノ代也

判ナリ

至心信果取為因 止 正団 上ニ正定書来ナリ 呂ラハスナ

今ハ夫ヲ友ノ様ニ受ケ付テ相ナリ井ニ同シ呂ラ信スニス友

ノ様ニ依リテハ行ニ相リカ異ナリテ十九行ノ様カ受ケテハ  
 兼リ通シテ今仙トシ又亦我ノ様カ受ケテハ自カ金佛  
 トス是事共ニ方便化チテ因トス先ニ今ハ見事ヲ行ニテ至心  
 行果我ノ因トシテ力トス我ノ様カ行モ真実報出ノ  
 証大ニテ真因トストモ也也サテ正ノ安文ノ解ニ先  
 至心トモ信義ニ至者即真也誠ニ行トモテ安字訓教  
 呂義ニ至誠心ヲ尺ニテ至トモ真リ誠トモ実トモ依リテ  
 至心トモ真実何トモ一テ銘文ニ至心トモ真実トモ申ナリトモ  
 真実何トモモト下凡ニ無キ故ニ如来ノ真実何トモカ  
 為ノ如来法花因位ヨリ大慈心ヲ発スレテ我ホニカカラヤレ清  
 淨直ノ實ノ至心ヲ成就シテ又ノ安ニ正施シテ本報ノ至  
 心ヲ尺ニテカ行ノ卷ナリ安尺ニテ敬呂義ニ不得外現噴  
 呂精進相内懐上虚仮トスルヨリ出テ凡夫ノ外ニ由具呂精進ノ



至心仰慕ヲ以テ安メテ曰ク生シト思ヒトテアリテ他カノ如ク増  
テ振リテ申シテ遂ケ交ヘテ我ノ心カ欲生心アリ之又在メ自カノ欲  
生心ニ非ス今我カ工向ノ欲生心アリ依テ信巻ニ是故如来矜  
哀一切苦惱群生海牛ノ如ク其体正白ノ欲生心カ以テ其  
シカカメテ欲生心アリ向キ度ニテ他ノ中欲生ヲ答ケ玉ク然レ  
答キ之ニ就テ向キトシテ心カメニ思召ルキニ此義トイフ之ニ盡  
此方ナクノ我名ヲ与フニ此我ヲ至心仰慕ノ我ト名ツケ玉ヘリ今  
其我名ヲ以テ此方ニ与フニ此我ヲ至心仰慕ノ我ト名ツケ玉ヘリ  
用ユキウニ非ルト云義已成今我ノ意思ニ又ニ遠ヘテ心カ今我ヲ  
廻シテ我ノ義ヲ依テ欲生心ヲ思召ルキニヤリテ向キトシテ心  
カメト申シテ此方ニ存スル今日之ニテ存思ス

第拾二會

十三日晴天

成等正覺 證大涅槃 止 二、往相ノ果 次ノ向ニ往相ノ回

ヲ以テ今其果ヲ以テ申す中初成等覺証大ニテ一ノ如ノニ  
字に現卷後ノ四字に當卷あり即チ如來會ノ力ニテ又  
依り玉テ印ヲ文ニ若我成佛口中、有階若不決定成等覺  
證大涅槃者不取其ト云ル也此等正覺ノ印チ等覺チ  
尤モ佛ノ十有ノ中ニ等正覺ト云レシ也此等字ニ徧チ等正覺  
ノ二義ト云レテ佛ノ印ヲ云レ共ニ徧チ等正覺ノ印  
此法ヲ證スルチ佛ト云ルチ又等覺ノ印ヲ等正覺ト云レ  
齊チ等正覺チ等正覺位ニ至レ共ニヤカチ佛果ノ証覺ニ等正覺  
チナリト云ルチ此等正覺ノ初卷ノ位ヲ五目現  
卷トナレテ此種似ノ上ニ得奉人ノ位トス此知實ニ吾身ノ高判  
ニテ其相ヲ出ス如實ニ撰取不換ノ利卷ニ等正覺ニ至ルチ  
此又末燈抄ノ右信ニテ得ん人必正定取所ノ位ニ住んテ故ニ  
等正覺ノ位ト申す乃至如來會ニ等正覺ト云レテ了真

名コリカカリタレ氏ニ定取取手正覺之ニツ意ニツ位より手正覺ト  
申ス位補双ノ却リト曰シ位より却リト曰リ此交天上覺之者也  
故ニ却リト曰シト覺チ却リ止トノ却リノ誠ニ能リ分リタ出尺ナリ  
之ヲ以テ知レシ大子子トノ既漢益称シテ故入語リ具フニ上レシ摩  
訶般王子那ト云々大減交ト翻ヒテ名義集ニ大即テ法以  
減ッ即テ解脫土ノ即テ般若法般解ノ三也ヲ以テ配尺ニテ  
アリ又季命ニ減度言其大患永滅超土四流トアリト山大  
患トノ災苦若クノ即テ此三障ノ尽キタテ減ト云々交ト也流  
ヲ超ト云々即テ此流ト之生老病死ノ也流之果ニ就テ示  
シ又有流見流歎流无也流之因ニ約スノ三因ノ因ヲ也流  
ト云ヘテ交ト云々其因昇ノ也床ヲ超交云々故ニ減交云々ト云ナリ  
又元早ノ尺ニ減トノ自利ノ自寂ナリ交トニ他ノ濡足ナリト云々  
ニ字ヲ自利利他トニ分ケテ自利々他同濡ノ仙昇子ヲ大減交

大なる心より必至滅を成就上之現生正定聚に住えし余

子強りて直に大なる心証入る皆才上心成就力有り故なり

了りて此必至滅を成就し命入る命入る命入る命入る

如來所以興出世唯說弥陀本願海 二、此の約して信受し

ルニ三 初ニ義上起下ニ又ニ 初ニ出代ノ由意 二ニ捨ラテテ惣

ス人ヲ初ノ 此四句ヲ義上起下ト科スルニ上ノ二句惣

シテ上ノ因縁ヲ早海ニ云々也 系ニあり上ノ文ヲ惣ノ義上

ノ此世ニ出生ス知上來ニ成ス如來ノ本願海ヲ後ニカヨリテ義上

シテ又ノ次ノ二句ニ於テ之カヨリニ立波ノ義此也如來ノ此

ヲ信スレシ物ニテ勅ヲテ貝助ノ如來ニ云々テ次ニ信ノ開キテ勅ノ

テ故ニ物ヲ之ニ上ニシテ本願の約シテ此ノ勅者ニ約スル條ト

通ヲ以テ別ヲ显ス即チ其ノ主及據ヲ指スナリ片此ニ句

大なる如來以無盡大悲乃至真実之利ト被キテ了文意依

リ玉テ 地沸出 草界ノ 出テモクニ 何所カニ 他ナシ 只此ノ 本教  
海ヲ 誤テ 五濁世ノ 群生ニテ 等クシ 仙果ヲ 成マシムルカ 故ニ  
世ニ 出テモクニ 惣ニテ ホシモクニ 唯ト 簡別ノ 言テ 汗牛充棟ノ  
一代 聖ヲ 遠敵カシテ 地ノ 出テモクニ 出テモクニ 知只此ノ 本教ヲ 誤  
カンカ ぬノ 事ト 一代 聖ヲ 押シテモクニ 唯ノ 一字ト 本教海ト 此ノ  
群生海ト 對ス 之生死 海天又ク 穴又 天界ト 身元 界天ト 生  
死海ヲ 尺ニシテ 法界ノ 入ニテ 更ニ アリテ ナキ 慈愍 度大 天再  
大愁ト 執ルカ 故ニ 本教海ト 多ク 其ノ 出世 本懐ヲ 誤スル 宗  
ノ 一準 ナラス 各執一義 アリテ 皆出世ノ 本懐ト ホゴル 依テ 一處ト  
之ニ 三命 宗ノ 如談ノ 如リ 一代 聖皆之 出世ノ 本懐ト 何トモ  
一代ノ 聖ニテ 本病ト 其ノ 甚ク アナガツニ 聖ノ 淺深ヲ 命ス  
ニ 凡ノ 八万ノ 法堂ニ 法トシテ 様ニ 當リテ 本懐ヲ 显イカシトモ  
之 謀ニ 獄堂ノ 命トモシ 依テ 其極ニ 知リ 命トモ 偏ニ 大慈悲

ノ本ト云テ本懐ヲ誤ラズテ勝レリトス依テ之ヲ厚底ニ命ス  
 大慈施テ凡ノ本意ウバリテ独リ沙本取ニ般スリ依テ今  
 此本懐ヲ命ス。祖意ニツテ一ニ時々ノ様ニ約シ二ニ想作  
 法ニ約シテ約ノ様ニ約ス。沙ノ五法密時群生海ノ与之  
 有之。般聖沙ノ依テ本懐ヲ显ス。五法密時ノ四字ノ沙聖  
 一部ヲ想ス。群生海ノ三ノ般聖一部ヲ想ス。先一切群生ノ様  
 之ヲ分テ定数ノ二ニ其散様ノ中ニ旨意分シ九品差別シテ  
 是ハ八万四千八百四十ノ様ヲ显ス。般聖是テ之ヲ一  
 様トシテ本取合仙ノ様ニ執見ス。沙ノ五法密時ノ般聖  
 一様一編ノ益ニ限ル。故ト比肩シテ命ス。ケヤノ様ニ就テ  
 凡ノ本懐ヲ显ス。般聖一部ニ足テトス。若時処ヲ命ス。凡  
 如未自ラ稱ヘテ去リ我於五法密時止トテ沙ノ沙ノ又及シテ  
 去リ凡如未能为甚難希有之事ト一切世間ノ外ニ出テ

災リト之時ヲ命を五世密時知ヲ命を五世乱漫ノ知此時知  
想(天)地(地)のり(カ)人(人)ノ本我命命ノ一法即此時知(地)想(天)地  
リ(天)今(今)興(興)出(出)世(世)ノ世(世)間(間)此(此)其(其)五(五)世(世)密(密)時(時)知(知)是(是)本(本)ヲ(ヲ)求(求)ム  
山(山)ニ(ニ)入(入)リ(リ)莫(莫)ヲ(ヲ)求(求)ム(ム)淵(淵)ニ(ニ)入(入)リ(リ)若(若)シ(シ)也(也)二(二)業(業)同(同)命(命)ヲ(ヲ)法(法)ヲ(ヲ)以(以)テ(テ)出(出)サ  
本(本)思(思)ハ(ハ)マ(マ)リ(リ)必(必)ズ(ズ)方(方)便(便)有(有)土(土)ニ(ニ)出(出)現(現)シ(シ)若(若)又(又)大(大)様(様)ノ(ノ)并(并)ノ(ノ)め(め)ナ(ナ)ラ(ラ)ハ  
實(實)報(報)天(天)障(障)ヲ(ヲ)身(身)土(土)善(善)ス(ス)一(一)法(法)今(今)現(現)五(五)世(世)時(時)知(知)入(入)リ(リ)テ(テ)攝(攝)化(化)シ  
テ(テ)出(出)サ(サ)本(本)意(意)山(山)皇(皇)様(様)ヲ(ヲ)并(并)ニ(ニ)家(家)人(人)并(并)若(若)二(二)業(業)同(同)命(命)ノ(ノ)法(法)華(華)  
ヲ(ヲ)以(以)テ(テ)出(出)サ(サ)本(本)意(意)ト(ト)シ(シ)テ(テ)出(出)テ(テ)テ(テ)ノ(ノ)ア(ア)ラ(ラ)ハ(ハ)テ(テ)波(波)ノ(ノ)水(水)ヲ(ヲ)求(求)ム(ム)め(め)ナ(ナ)ラ(ラ)ハ  
必(必)ズ(ズ)山(山)ニ(ニ)入(入)リ(リ)テ(テ)今(今)群(群)生(生)海(海)ニ(ニ)入(入)レ(レ)傷(傷)ム(ム)五(五)世(世)密(密)時(時)知(知)ノ(ノ)法(法)ヲ(ヲ)求(求)ム(ム)是(是)此(此)  
密(密)時(時)ノ(ノ)真(真)ヲ(ヲ)得(得)ル(ル)者(者)ノ(ノ)本(本)意(意)ス(ス)ル(ル)知(知)レ(レ)依(依)テ(テ)大(大)原(原)同(同)命(命)ノ(ノ)法(法)  
ノ(ノ)法(法)ヲ(ヲ)求(求)ム(ム)見(見)法(法)ノ(ノ)命(命)を(を)牛(牛)南(南)ニ(ニ)收(收)其(其)時(時)様(様)ヲ(ヲ)命(命)を(を)至(至)リ(リ)テ(テ)法(法)然(然)  
勝(勝)リ(リ)テ(テ)自(自)負(負)シ(シ)テ(テ)之(之)時(時)様(様)ニ(ニ)就(就)テ(テ)出(出)サ(サ)本(本)意(意)ヲ(ヲ)探(探)  
我(我)カ(カ)本(本)我(我)ノ(ノ)命(命)ノ(ノ)家(家)ノ(ノ)也(也)テ(テ)テ(テ)ハ(ハ)リ(リ)ヤ(ヤ)ニ(ニ)攝(攝)化(化)法(法)ノ(ノ)約(約)シ(シ)テ(テ)命(命)

又出世承讓、忘代如承如實さ、一白之り此義、四日ヲ行  
ツテ知ハレシ

第拾三會  
ナヒ、晴天

ニ根化ノ法、約え申、即チ巾、巾、佛是り之ヲ、次ノ句、如實さ  
ト云、加實ト、加常、真実、申、テ大聖ニ、真実之利ト云え、是ナリ  
之ヲ用キ先カ大聖一部ナリ故、之ヲ吾直北真実及ト定トス  
此如實さ云え、本孔呂巾、及出世ノ本、法ナリ、其故ハ九テ代  
聖ニ出サ、本、法ヲ以テ、多端ニシテ、宗々、其、依、也、アリト云  
其申ニ、於テ、大、聖、ノ、取、組、トス、チ、カ、華、テ、一、章、知、説、リ、此、華  
天、祇、ニ、一、頼、支、ニ、一、頼、支、ト云、知、リ、此、之、存、一、想、意、ヲ、案、充  
ヒ、失、ツ、華、ル、加、キ、平、等、元、修、海、印、三、昧、入、リ、重、々、无、尺、回、多、羅  
儼、細、ノ、法、ヲ、呈、ス、人、今、一、切、該、作、大、智、雲、門、ヲ、開、呈、ス、ノ、重、ナ  
故、ニ、重、具、能、ヲ、絶、レ、テ、独、リ、ガ、耳、ヲ、シ、テ、シ、テ、ス、リ、ト、云、テ、成、ニ

法華の如き一切法は仙の大徳つて是の法にシテ其徳大なるは

金根敗壞種二葉あり會三皈一唯有一葉法に會同し

テ長り一字相の如延の根シ之山まき華光ノ守ノ及ニ光如キ華光

カラアリ似相又大キ光ニ手ヲ知ラス法花能リ巧ニ手アリテ

妙手已にカラタラス形勢又華光ニ及ス故に此ヲ及南葉

美ヲ争フテ成四一別ヲ兼テ入ト敗ニ成ニ又逐獲ノ事あり

ト敗ナリ正生ノ本聖トおえニテ此取組ニ成ニ大勝敗ヲ見ん

トナシ之互ニ欠リ知アリテ成ニ智慧ニ成ニ慈悲タラス華光之

チ故ニ二葉ヲ含テ成ニ成ニ心アルは智慧タラス法花之チ故ニワッ

カニ二葉同人ヲ許セ成ニ極而ノ甲女已ニ此コシ落セリ之智慧ア

リテ心ナキモ直ノ智ニ成ニ心アリテ智慧ヲキモ又真ノ心ニ成ニ故

ニ各一得一失アリ成ニ人テ集ル今仙ニ其心智慧ノ二ツヲ兼ルん

ノ而仙ナリ其相リ一切法は智慧ヲ集ルテ逐ニ而天ノ二葉ヲ全

ク



群生海に送り極り底<sup>チキ</sup>海に喟<sup>コ</sup>り加<sup>マ</sup>ま<sup>マ</sup>て<sup>テ</sup>の<sup>ノ</sup>持<sup>チ</sup>倉<sup>クラ</sup>  
・底知我里加美<sup>チ</sup>竟<sup>キ</sup>と<sup>ト</sup>ん<sup>ン</sup>の<sup>ノ</sup>依<sup>ヨ</sup>り<sup>リ</sup>五<sup>イ</sup>一<sup>ツ</sup>テ<sup>テ</sup>也<sup>ヤ</sup>不<sup>フ</sup>置<sup>シ</sup>了<sup>リ</sup>義<sup>ギ</sup>契<sup>ケ</sup>大<sup>ダイ</sup>自<sup>ジ</sup>ノ<sup>ノ</sup>義<sup>ギ</sup>テ  
遠<sup>ト</sup>こ<sup>コ</sup>ろ<sup>ロ</sup>ス<sup>ス</sup>ツ<sup>ツ</sup>リ<sup>リ</sup>ト<sup>ト</sup>叶<sup>ツ</sup>ッ<sup>ツ</sup>テ<sup>テ</sup>加<sup>カ</sup>ト<sup>ト</sup>ま<sup>マ</sup>り<sup>リ</sup>山<sup>ヤマ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>深<sup>フカ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>テ<sup>テ</sup>履<sup>フミ</sup>リ<sup>リ</sup>ノ<sup>ノ</sup>チ<sup>チ</sup>キ<sup>キ</sup>  
ヲ<sup>ヲ</sup>定<sup>サ</sup>ム<sup>ム</sup>ト<sup>ト</sup>ス<sup>ス</sup>リ

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*